

2026 年 9 月 30 日

交通広告ランキング 2026 年 8 月

「便利さ」、「働き方」、「体調を見直す」広告が集まった 8 月

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島明美、資本金：1 億 6,500 万円）は、エム・アール・エス広告調査株式会社『MRS 交通広告データ集計システム』を基に、毎月の関東の交通広告（電車内/駅）の出稿ランキングと TOPICS を発表しています。

交通広告出稿ランキングには、生活者の関心や企業の広告戦略が反映される傾向があります。

2026 年 8 月の出稿から、特に注目すべき 3 つのトピックスをご紹介します。

順位	広告主	銘柄
1	サテライトオフィス（システム開発）	サテライトオフィス（システム開発）
2	米国食肉輸出連合会	肉
3	グーグル	ピクセル 1 1 プロ製品
4	ウーバー・ジャパン	ウーバー（配車アプリ）
5	イーベイ・ジャパン	Q o o 1 0（インターネットショッピングサイト）
6	K D D I	a u 携帯電話
7	マイナビ	P R
8	フィット	ライフフィット（フィットネスジム）
9	メトロ文化財団	メトロ文化財団
10	アメリカンエクスプレス	タッチ決済
11	アサヒビール	アサヒ生ビールスーパードライ
12	ブレインスリープ（健康睡眠コンサルティング）	ブレインスリープ（健康睡眠コンサルティング）
13	ビズリーチ	ハーモス労務（労務管理システム）
14	フジテレビジョン	フジテレビオンデマンドプレミアム
15	アメリカンエクスプレス	プラチナカード
16	インディードリクルートパートナーズ	リクルートエージェント
17	ドーナツ	ジョブカン
18	アマゾンウェブサービス・ジャパン	アマゾンウェブサービス
19	渋谷スクランブルスクエア	渋谷スクランブルスクエアアプリ（決済サービス）
20	ユーザベース	ニュースピックス（経済ニュース スマートフォンアプリ）

出典：エム・アール・エス広告調査株式会社『MRS 交通広告データ集計システム』

※交通系事業・広告代理店を除く

■TOPICS 01 | スマートフォンを軸に移動・買い物・決済を支える出稿

グーグルの『 픽셀 1 1 프로製品』や『a u 携帯電話』と、上位にはスマートフォン関連の出稿が並び、『ウーバー（配車アプリ）』、『Q o o 1 0』、アメリカンエクスプレスのタッチ決済など、移動・買い物・支払いを担うサービスも目立ちます。旅行や帰省で普段と違う場所へ出かける機会が増える8月は、出先でもスマートフォンやカード1枚で移動から買い物、支払いまで済ませられる便利さが実感されやすい時期です。日々の移動中に接触する交通広告で、そうした利用場面を思い起こさせ、スマートフォンのある暮らしを印象づける狙いがうかがえます。

■TOPICS 02 | 「働く人」と「企業」の双方に向けた人材・労務サービス

人材サービスのリクルートエージェントやマイナビに加え、労務管理システムのハーモス労務とジョブカンがランクインし、個人向けと企業向けの両面で「働く」に関わる出稿が見られました。お盆休みや夏季休暇をきっかけに、キャリアや働き方について考える機会が生まれやすい8月。企業においても秋以降の事業運営を見据えて人事・労務の体制を検討する時期と重なります。同じ通勤経路で個人にも企業の担当者にも接触できる交通広告の特性が活かされていると考えられます。

■TOPICS 03 | 猛暑の夏を乗り切る食・ビール・睡眠の出稿

米国食肉輸出連合会の肉の訴求、アサヒビールのスーパードライ、ブレインスリープが入りました。猛暑が続く8月は体力を消耗しやすく、スタミナをつけたい食卓、暑い一日を終えた後の冷えた一杯、寝苦しい夜の睡眠と、それぞれで自分をいたわりたいという意識が生まれやすい時期と考えられます。毎日の通勤・移動で繰り返し目に触れる交通広告は、こうした夏の暮らしの場面ごとに、ブランドを日常の選択肢として印象づける役割を担っていると考えられます。

■編集後記

今月のランキングからは、スマートフォンを起点とした暮らしのサービス、働き方に関わる人材・労務、猛暑を乗り切る飲食・睡眠と、生活者の様々な気持ちに向けた広告が並びました。移動、決済、仕事、休息と、日々の動線の中でそれぞれの関心事に寄り添う交通広告の役割が感じられる月でした。

■オリコムについて

株式会社オリコムは、東京都港区新橋に本社を置く、1922年創業の総合広告会社です。世の中に一つでも多くの「良い関係」を創造することを企業理念に、マスメディア、OOH、デジタルソリューション、クリエイティブ、プロモーションなど幅広い事業を展開しています。

詳しくは <https://www.oricom.co.jp/> をご覧ください。

■参考記事

2026年7月版 | 今月の交通広告 TOPICS

<https://www.oricom.co.jp/topics/ooh/18864/>